



赤目まちづくり委員会・市民センター たきこちゃん通信 9

2020年
月号

発行/赤目まちづくり委員会(赤目市民センター)〒518-0465名張市赤目町丈六238-1 電話/FAX63-0329 E-mail/akame-ko@emachi-nabari.jp

下半期をコロナと共に、新たな様式で。

赤目まちづくり委員会 会長 亀本和丈

猛暑、酷暑の夏が峠を越したかと思う間もなく台風シーズンの到来となつてまいりました。平素は、赤目まちづくの委員会に対しまして格別のご理解・ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

世界の各国がかつてない大不況のどん底を味わっている新型コロナウイルスの感染拡大は終息の目途すら付かず我が国に於いても幅広い年齢層の元、あちこちでクラスターが発生、病院や高齢者施設は言うに及ばず高校や大学等の部活動にまでその波はよって来ております。

等々の状況から私共のまちづくり活動や市民センター活動に於いて今後の下半期に付きましては、標記の様にコロナと共に新たな様式を考え少しでも遂行する予定であります。

先ず戦没者追悼式は感染防止策を徹底し尚規模を縮小(例年の1/3)(各区代表者)にて挙行の予定であります。10月以降の行事に付きましては、9月下旬に開催の理事会に於いて審議検討の予定でございます。

一番懸念しておりますのが、延期が続いておる法人化の設立総会であります。200名弱と云う参加者数のため小学校体育館を使用とて三密は避けられず、今年度中の開催は無理かと思われます。理事会の結果に付きましては、10月号通信でお知らせ致しますので、よろしくお願い致します。残暑厳しい折りで、季節の変わり目でもありますので、くれぐれもお身体をご自愛頂きます様、謹んでお願い申し上げます。

夏休み子ども映画会を開催しました。

錦生赤目小学校の生徒さんを対象に、8/15(土)午後1時半より第一回「キングダム」(実写劇画)を放映。第二回は「君の名は。」(SFアニメ)を8/22(土)午前・午後とも赤目市民センター大会議室で開催しました。

検温・消毒・マスク着用、連絡先確認など万全なコロナ対策に取り組み、ソーシャルディスタンスを保ちながら多くの子供たちに参加を頂き、喜んでもらえました。



残暑厳しい折、季節の変わり目、お身体を大切に。

旅のステーション「散策サポーター」研修会の開催

赤目四十八滝だけが観光客の終着駅にならない様、駅前から訪れた方の旅が楽しく始まり地域文化の魅力、そして人情にも触れて頂ければと開設された「赤目旅のステーション」。そのスタッフが「散策サポーター」で、現在27名登録。

去る8月3日(月)研修会が、3月28日開館の「赤目自然歴史博物館」において行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、4月18日から5月31日まで閉館、6月より再スタート。

ケーブルテレビads.の取材を受けながら、当日は、博物館の展示に見る「赤目四十八滝」の「地理、自然、歴史、文化、忍者」等の勉強と合わせ、「赤目インタープリター研究会」の宮本篤(環境部会 部長)さんより、赤目地域内の歴史・文化・観光について、また「旅ステ、サポーターとして、それぞれ共有する学習会」が行われました。



暑さを避けましょう

- 涼しい服装、日傘や帽子
- 少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動
- 涼しい室内に入れなければ、外でも日陰へ

のどが潤いていなくてもこまめに水分補給をしましょう

1日あたり1.2L(12杯)を目安に

1時間ごとに 入浴前後や起床後も コップ1杯
まず水分補給を

ペットボトル 500ml、2.5本
コップ約6杯

大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

エアコン使用中もこまめに換気をしましょう

(エアコンを止める必要はありません)

一般的な家庭用エアコンは、室内の空気を循環させるだけで、換気は行っていません

- 窓とドアなど2か所を開ける
- 扇風機や換気扇を併用する

換気後は、エアコンの温度をこまめに再設定

暑さに備えた体づくりと日頃から体調管理をしましょう

- 暑さに備え、暑くなり始める時期から、無理のない範囲で適度に運動(「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度)
- 水分補給は忘れずに
- 毎朝など、定時の体温測定と健康チェック
- 体調が悪い時は、無理せず自宅静養

知っておきたい熱中症に関する大切なこと

熱中症による死者の数は真夏日(30℃)から増加、35℃を超える日は特に注意! 運動は原則中止、外出はなるべく避け、涼しい室内に移動してください。

熱中症による死者の約8割が高齢者、約半数が80歳以上ですが、若い世代も注意が必要です。

高齢者の熱中症は半数以上が自宅で発生、高齢者は自宅を涼しく、若い世代は屋外での作業中、運動中に注意が必要です。

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。

※ご案内『たきこちゃん通信』は、今後赤目まちづくり委員会の地縁法人化に伴い「赤目まちづくり通信」(仮称)と変更になります。

スケジュールとコロナ対応について!!

赤目市民センターでは、9月より通常通りの催し・活動を再開致します。しかしながら新型コロナウイルス感染予防対策として、一部規模の縮小や制約を余儀無くされる場合がありますので、ご不便をお掛けしますが、何卒よろしくお願い致します。

【9月】

- ①9日及び23日の「ふれあいサロン」
*収容人数は通常の1/2(1机に4人)、最大人数20名まで
机上にパーテーション設置、入室時、検温、手指洗浄
- ②各区ごとの「敬老祝賀会」
*3密を避ける為「祝賀会」は行わず、区単位での「記念品」のお渡し。
- ③26日「令和2年度 赤目地区戦没者追悼式」
*3密を避ける為、地区代表者と関係者での実施。
雨天の場合は錦生赤目小学校体育館

【10月】

- ①10日予定の「地縁法人化 設立総会」
*9月の理事会で最終決定される。(参加対象者は180名、対コロナの現況化と3密を避けたいがその規模より実施は難しい。)
- ②15日「サンサンカレー」
*前日14日ふれあいサロンの要領に同じく、収容人数は20名まで。
- ③23日 市民センター館外学習「赤目歴史散策」
*10月にて「ご案内と申込書」をお届け、先着30名で締め切りとさせていただきます。
- ④27日「一人暮らし高齢者のつどい」
*実施予定者数50名+スタッフ、3密回避と感染症拡大防止の為、錦生体育館で実施。
- ⑤30日「男の料理教室」
*10月にて「ご案内と申込書」をお届け。3密回避の為、先着10名で締め切りとさせていただきます。
*実施の要領・テーマ:「秋の行楽弁当」、参加費用:500円
- ⑥31日「赤目市民センターまつり」
*8月の通信でもお知らせしましたが、3密回避と感染症拡大防止の為、展示のみとし、且つ、展示期間を10/31~11/4の5日間とします。

9月7日~10月4日までの予定

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---------------------|--------------|------------------------|---|----|--------------|----|
| 9/7 | 8 | 9 ふれあいサロン | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 福祉健康教室 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 敬老の日 敬老祝賀会 | 22 秋分の日 | 23 ふれあいサロン 忍たま広場 | 24  | 25 | 26 戦没者追悼式 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 10/1 | 2 | 3 | 4 |

※赤目市民センターでは、コロナ対策として、検温・マスク着用・消毒・換気、名簿の作成など、3密(密集・密接・密閉)を守りつつ運営しています。しかしながら状況に応じ、中止・延期になる場合がありますので、ご注意お願い致します。



10月の行事予定

- ★10/14(水) ふれあいサロン
- ★10/15(木) サンサンカレー
- ★10/16(金) かんたん体操(赤目市民センター)
- ★10/23(金) かんたん体操(星川区)
- ★10/23(金) 赤目歴史散策
- ★10/27(火) 一人暮らし高齢者のつどい(錦生体育館)
- ★10/27(火) かんたん体操(赤目ほんまもん広場)
- ★10/28(水) ふれあいサロン・忍たま広場
- ★10/30(金) 男の料理教室
- ★10/31(土) 赤目市民センターまつり(展示のみ)
~11/4(水)まで開催



Vol. 8 隠れた名所…赤目文化遺産

柏原城(瀧野城) 址跡

(各区・地域の名所・名品を募集しています。)

柏原城は、「天正伊賀の乱」終戦の城といわれる。永禄年間(1558年~1570年)に滝野貞清によって築かれた土塁、石垣、井戸、堀切、堀などで区画した輪郭式平山城(ひらやまじろ)。1574年(天正2年)に貞清が死去した後は、滝野吉政が継ぐ。

北畠家の養子となった織田信長の次男・織田信雄(のぶかつ)は、1576年(天正4年)北畠一族を暗殺し伊勢の国を掌握した。次は伊賀の領国化を狙っていた。当時伊賀・名張地方は、奈良時代より東大寺の荘園として発展を遂げていたが、鎌倉時代後期にはその勢力が衰え各村ごとの百姓の自治的村落共同体(惣村・そうそん)が進み土豪・地侍が支配する連帯と平等の体制が出来ていた。

1581年(天正9年)の第二次天正伊賀の乱では、城主・滝野吉政や百地丹波をはじめ、近在や比自山城から落ち延びてきた土豪・村びとなど1600余人で立て籠もり、織田勢5万弱に抵抗した(「伊賀乱記」)。当時の伊賀国の人口の三分の一が殺戮され、約一か月間持ちこたえたが最終的には和議に応じて開城。現在も土塁や空堀の遺構が残っており、勝手神社に「天正伊賀乱決戦之地柏原城」と書かれた城址碑があります。

今年の2月29日(土)にNHK人気番組「ブラタモリ」で、伊賀流忍者の歴史を辿り「柏原城址」が紹介された。神社・仏閣は、全て焼き払われ女子供まで殺戮・虐待された中で、天下人を相手に戦った私たちの先祖が仲良く自治と結束力が強かったことは、称賛に値する。

